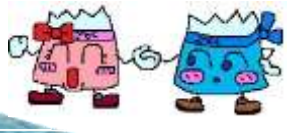
御特だより



令和６年３月１２日発行　第１２号
静岡県立御殿場特別支援学校

「自分らしく　のびやかに　たくましく」

校長　伊藤聖子

今、校内は児童生徒が思い思いに表現した「富士山」であふれています。御特恒例の富士山学習の展示です。まさに、“自分らしい富士山”です。学校目標にある「自分らしく」は、「自分の思うまま」や「自分勝手に」とは違います。「多様なひとものことと関わりあいながら、自分らしく興味関心の幅を広げ、理解を深めたり、考えを表現したりしながら学ぶ姿」を指しています。まさしく、今展示されているバラエティに富んだ「富士山」そのものだと思います。学んだ表現方法は同じでも、感じ方や力の入れ具合で、こんなにも「自分らしさ」が表現されるものかと感動しています。この力が、これからものびやかに育っていきますように。　　今年度もご協力ありがとうございました。

高等部　進路に向けての取り組み（産業現場等における実習）

産業現場等における実習（職場実習）には、自分を知る、社会（施設や職場）を知る、そこでの活動や仕事を知る、活動や仕事に取り組む気持ちや姿勢を育てる、最終的な進路を決めるなど、学年の段階に応じていくつかの目的があります。その根底に流れる目的のひとつは、学校や家庭で身につけた力を実習先でも発揮することができるかを確かめる、ということです。つまり、本人が学校の授業などで身につけた力が、校内の限られた学習場面だけではなく地域の施設や会社の中でも発揮される、生きてはたらく確かな力になっているか、ということを確認する機会でもあるということです。そして、本人にとっても周囲の人にとっても、その力の様子を知り、学校での学習や家庭での生活に生かすという意味があります。職場実習は単に進路を決めるために行うものではなく、生徒の皆さんの「リアルな体験」をとおして、成長を促していく機会になります。学習の一環として行う職場実習においては、このような見方が、本人や保護者の皆さん、教員にとって大切になります。

⚽高等部サッカー部⚽

令和６年２月17日（土）に本校グラウンドにおいて、今年度最後の土曜練習が行われました。試合形式の練習では、仲間と声を掛け合ったり、得点が入ったら、喜び合ったりと、この仲間とできる最後の試合を思い切り楽しむ姿が見られました。